第2回さいころセミナー

クリティカルシンキング入門の入門

2011/6/12 13:30～16:15

大きなまとめ

・クリティカルシンキングとは?
・自分を知ろう!
・クリティカルシンキングのテクニック

もうちょっと詳しいまとめ

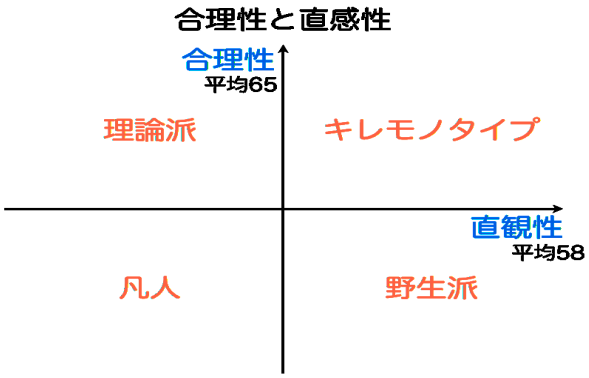
＜クリティカルシンキングとは?＞
物事を批判的に考えましょう!そして、自分の考え方も批判的に考えましょう!
「ちょっと待って、それって正しいの??それっておかしくない??いや、むしろ私は正しい!?」

＜ロジカルシンキング vs クリティカルシンキング＞

ロジカルシンキング	クリティカルシンキング
論理的な思考	論理的かつ批判的な思考
理屈が正しいか?	理屈に加えて客観的に正しいか?

＜自分を知ろう!＞
あなたの合理性 _____ あなたの直観性 _____

あなたのクリティカルシンキング尺度 _____
会場のクリティカルシンキング尺度の平均 _____



＜クリティカルシンキングのテクニック＞

・テクニックその1　4分割

表で考えよう!

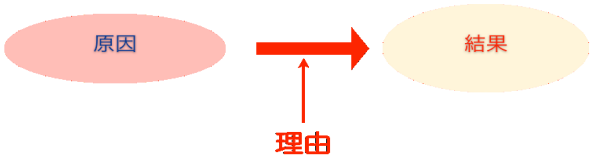
AをやったらBになったとしたら、以下の4つを全てイメージすること!

	Bになった	Bにならなかった
Aをやった		
Aをやってない		

・テクニックその2　相関関係と因果関係

1．相関関係があるから因果関係があるとは限らない

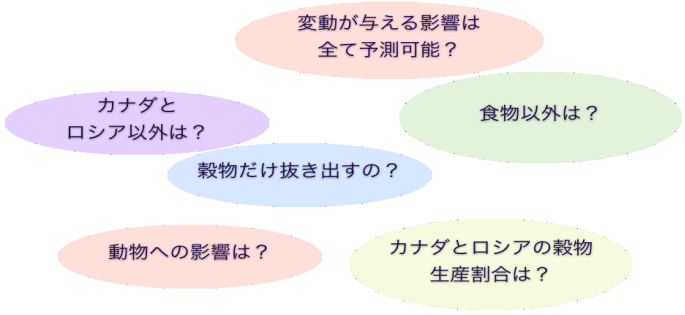
2．因果関係があってもどちらの方向かは分からない



・テクニックその3　他の要素も考えよう

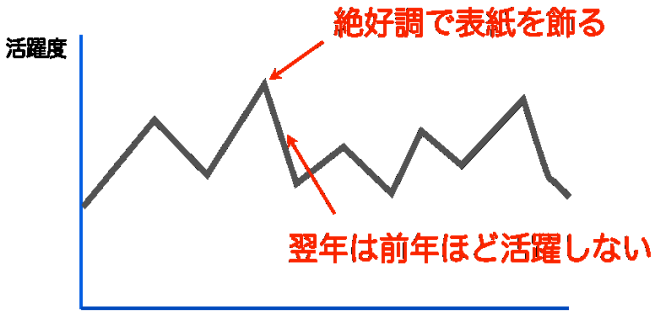
1.他の要素も考えよう

2.表で考えることもできる



・テクニックその4　変動考慮

平均回帰が起こるので、好調なものはそれなりに不調なものもそれなりに戻っていくものが多い。



・テクニックその5　動画割引

動画や写真は印象が強いので割り引いて考えること。

おまけのストーリー（佐藤さんはどこが間違ってる?）

山田くん「場合によっては法律を破ることも許される」
佐藤さん「そんなことを言うと誰も法律を守らなくなり、完全な無法状態になってしまうわ。だから、いつでも法律は守らないといけないわね」

山田くん「幽霊っているのかな?」
佐藤さん「幽霊の研究者はいっぱいいるけど、まだいないことは証明されてないわね。それに、幽霊をみた人はいっぱいいるわよ。だから、幽霊はいると考えるべきじゃないかしら」

山田くん「経済はもっと自由であるべきだと思うんだ。税率を下げて、公共でやってるものを民間に開放して、みんな自己責任でやるべきだ」
佐藤さん「経済っていうのはもともと”経世済民”という意味で、”国を治め、民を救う”という意味なのよ。だから、税率を上げて、その分で貧しい人を救うべきよ」

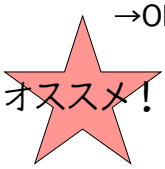
山田くん「生物というのはその環境に一番適応したものが生き残ってきた。そして、遺伝子はそれぞれの遺伝子の子孫が最大化されるように進化してきたと言うことができるんだ」
佐藤さん「ということは、人間は自分の子孫が最大になるように生きるべきということかしら」

今日の参考文献

“情報処理スタイル(合理性-直観性)尺度の作成”,内藤 まゆみ他, 2004, パーソナリティ研究 2004 第 13 巻第 1 号 P.67-78
“クリティカルシンキングに対する志向性の測定 に関する探索的研究”, 廣岡秀一他, 2000, 三重大学教育学部研究紀要(教育科学)2000 年第 51 巻 P.161-173

もっと知りたい人のためのブックガイド

文：道田泰司、宮元博章　まんが：秋月りす著 『クリティカル進化論』北大路書房



→OL 進化論を題材にクリティカルシンキングを読み解くという本です。とても読みやすい上に、非常によくまとまっています。正直言って、この本があれば他のクリティカルシンキング本はいらないんじゃないかとも思えるほど秀逸な一冊です。

ロバート・レヴィーン『あなたもこうしてダマされる』草思社

→クリティカルシンキングというよりも、心理学的にみたダマされないためのコツの本。人間にはどのような認知的なバイアスがあるか、そしてどうやって他人にダマされないのかを書いた本です。

トマス・ギロビッチ 『人間この信じやすきもの』新曜社

→クリティカルシンキングというよりも、認知バイアスや心理的な傾向など、人間がどうして間違ってしまうのかを書いた古典的名著。若干お高い本（2900円+税）です。

ジュリアン・バッジーニ、ピーター・フォスル『哲学の道具箱』共立出版

→いわゆるクリティカルシンキングはビジネスや日常生活のみでなく、哲学においても大事なものです。この本は”哲学でよく用いられる概念や様々な事柄が何故そんなに簡単に分かるものではないのか”ということのヒントをくれる本です。様々な哲学的問題（解決でない）に取り組む道しるべになっている本です。

ビジネスに役立つ心理学ニュースを紹介しています！

さいころニュース http://www.shinrigaku-news.com/